

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)

【公開番号】特開 2003-101992 (P2003-101992A)
 【公開日】平成 15 年 4 月 4 日 (2003.4.4)
 【出願番号】特願 2001-292666 (P2001-292666)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 7/18

H 0 4 N 7/24

【F I】

H 0 4 N 7/18 A

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 N 7/18 V

H 0 4 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 2 月 27 日 (2004.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画像を圧縮するエンコーダを有する複数の送信装置と、圧縮データを伸張するデコーダを有する少なくとも 1 つの受信装置をネットワークに接続した圧縮画像伝送装置において、上記ネットワークの伝送容量の一部を用いて上記各動画像に対応する参照画像データを伝送することを特徴とする圧縮画像伝送装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の圧縮画像伝送装置において、送信側の上記エンコーダから、高精細な画像である圧縮データと共に、該圧縮データよりデータサイズが小さい参照画像データを上記ネットワークへ出力することを特徴とする圧縮画像伝送装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載の圧縮画像伝送装置において、受信側に、上記ネットワーク上を伝送される所定の圧縮データを伸張して対応する映像信号を出力するデコーダと、上記複数の参照画像データを伸張して対応する複数の参照画像を出力する複数のデコーダと、上記伸張された映像信号と上記伸張された複数の参照画像とを合成する映像合成器を有し、この合成映像信号をモニタに出力表示することを特徴とする圧縮画像伝送装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 記載の圧縮画像伝送装置において、受信側に、上記送信側の複数の動画像のいずれかを、上記受信側のモニタに映し出された上記複数の参照映像から選択指示して選ぶ手段を有することを特徴とする圧縮画像伝送装置。

【請求項 5】

ネットワークに接続されるエンコーダであって、所定の動画像を所定の画像圧縮処理した圧縮データと、該圧縮データよりデータサイズが小さく画像圧縮処理した上記動画像に対応する参照画面データとを、上記ネットワークの伝送容量に応じて上記ネットワークへ出力することを特徴とするエンコーダ。